

外部委託業者の募集

References: IO/25/OT/70001261/EBT

“Project Control Support Services to IO”

(IO へのプロジェクト管理支援)

IO 締め切り 2025 年 3 月 24 日(月)

〇はじめに

本事前情報通知 (PIN) は、作業契約の入札授与および実行につながる公開入札調達プロセスの最初のステップです。作業の範囲は、年間タスクオーダーによって開始されます。本文書の目的は作業範囲と入札プロセスに関する技術的な内容の基本的な要約を提供することです。国内機関は、今後の入札に先立ち、これらのサービスを提供できる企業、機関、またはその他の団体に対して、入札の詳細情報を事前に通知してください。

〇背景

ITER は平和利用の核融合発電の科学的小および技術的な実現可能性の実証を目的とした、国際共同研究開発プロジェクトです。ITER 機構の 7 つのメンバーは、欧州連合 (EURATOM が代表)、日本、中華人民共和国、インド、大韓民国、ロシア連邦、および米国です。

ITER の敷地はフランス南東部のブーシュデュロヌ地区にあり、ITER 本社 (HQ) もあるフランス CEA サン・ポール・レ・デュランス に近いところに位置しています。詳細については、ITER のウェブサイト <http://www.iter.org> を参照して下さい。

〇作業範囲

選ばれた契約者は、ITER のベースライン実行パフォーマンスと詳細な実行スケジュールの計画、監視、管理、管理、報告のために、IO にプロジェクト管理サービスを提供する必要があります。

作業範囲を実行する契約者は、IO に承認された管理計画、方針、手順、作業指示書、ガイドラインのフレームワークに従うことになります。このフレームワークは、ITER プロジェクトの独自のガバナンスにより、通常のプロジェクト管理慣行から逸脱することが多いことに注意してください。ITER プロジェクト管理計画は、主なガバナンスとプロセスのフレームワークを定めています。

IO のベースライン構造は、以下の図1に示されています。

図1 - ITER ベースライン構造

(詳細は技術仕様書を参照下さい)

IO は月次進捗更新と報告サイクルを遵守します。関連する月次タスクは、このカレンダーを遵守して完了する必要があります。

IO の財務およびプロジェクトサービス部門 (FPS) は、建設プロジェクト事務所 (CPO) を通じてスタッフと契約者サービスを割り当て、建設プログラム (9) およびプロジェクト (47) を支援し、プロジェクトリーダーが詳細な実行およびベースラインパフォーマンスの管理、監視、スケジューリング、予測、報告を継

続的に支援できるようにします。FPSには、各技術分野のプロジェクト管理支援サービスを担当するIOのスタッフ（サービスエリア責任者・SRO）と、各プログラムの契約者作業の実行を担当するプロジェクト管理専門家（PCE）が割り当てられています。IOの組織および建設プログラムの詳細は、以下のウェブサイトに掲載されています。

https://www.iter.org/sites/default/files/media/2025-02/iter_organizational-chart_02-2025_final.pdf

各技術分野に定義されたサービス担当者の予想されるレベルは、IOからの現在の見積もりです。

作業の量は、提案依頼書（RFP）に提供される技術仕様書でさらに詳細に説明され、現段階でのサービス担当者のレベルを精緻に評価できるようになります。

異なる技術分野については、次のセクションでさらに詳述します。

1 スケジューリング管理サービス

必要なスケジューリング管理サービスは、ITERの建設プログラムおよびプロジェクトに直接割り当てられた作業範囲、およびいくつかの横断的機能に対して、時間段階的でリソースを積んだマスタースケジュールの開発、維持、実行を支援するものです。また、このサービスは、近い将来の詳細な作業スケジュールのローリングウェーブ開発、実行、管理を支援します。

マスタースケジュールは、範囲、スケジュール、コストの統合を反映しており、作業予測、得られた価値パフォーマンス測定、分析、報告、およびベースライン変更管理に使用されます。

マスタースケジュールは正式な変更管理下にあり、Primaveraソフトウェアを使用してITER機構によって開発および維持されます。ローリングウェーブアプローチで開発され、実行年NおよびN+1の作業パッケージ、および将来の年の計画パッケージで維持されます。

これはさらに、IOおよびDAの詳細な作業スケジュール（DWS）および供給者スケジュールによって支えられています。これらは、特定のシステムやコンポーネントのIOおよびDAの調達に関する詳細な実行計画および現場での設置・試運転作業スケジュール（C-DWS）です。DWSは正式な変更管理下にはありません。必要なスケジュール管理サービスには以下が含まれます：

- IOおよびDA要素のスケジューリングシステムの統合、統合スケジュールの月次予測分析、スケジュールベースラインの維持、ベースラインに対するスケジュール状況のプロジェクトリーダー（PL）および技術責任者（TRO）への報告。
- 月次進捗更新、クリティカルパス分析、研究、及びマスタースケジュールおよびDWS内でのそれぞれのWBS要素に対する正式な変更の実施。
- 近い将来の現場建設作業における詳細な設置作業パッケージの実行スケジュール、順序付け、分析、調整。
- マスタースケジュール内でのリソースおよびコストの積み込みと維持。
- これらのサービスの主要な要素には、PLおよびTROへの支援が含まれ、各自の特定のWBSエリアに対するスケジューリング、予測、見積もり、およびリスク・機会の軽減管理の支援が行われます。具体的には、サービスは完了時の予測見積もり、予算サイクル計画、および月次の差異分析と報告を支援します。

- Primaveraおよびその他のプロジェクト管理関連システムでの計画情報の維持。例えば、次のようなシステム：
 - イシューマネジメントデータベース
 - プロジェクトリスクおよび機会レジスター
 - DWS間通信管理システム
 - プロジェクトマネジメント報告システム

さらに、マスタースケジュールおよびDWSに加えて、スケジュール管理サービスは、各IO PLおよびPCEによって指示された追加の詳細な作業レベルのスケジュールの開発および管理、現場での設置および試運転作業のための詳細なスケジューリング作業をカバーします。

2034年以降のPost SRO作業の詳細な設置計画は、契約期間中にIO建設プロジェクトチームと共に開発されます。

スケジューリング管理業務には、スケジューリングシステムへの月次サイクル管理および内部データ転送、ならびにOracle Primaveraのシステム/ユーザー管理も含まれます。

契約実行中に、特定のサブプロジェクトの研究に対する4D計画など、その他のスケジューリングタスクやシステムが範囲に追加される可能性があります。

このサービスを実行するには、20～40人のスケジューラーが必要と予想されます（時間とともに変動）。

2 リスクおよび機会管理

IO FPSは、リスクおよび機会（R&O）の識別、評価、優先順位付け、管理計画、報告、分析、対応計画、監視、管理のための方法、プロセス、ツール、およびガバナンスルールを実施することにより、ITERのリスクおよび機会に関する能力の開発と監視を担当します。契約者は、R&Oプロセスの実行を支援します。

ITERプロジェクトには、R&O管理作業を支援するための専用のITERプロジェクトリスクおよび機会レジスター（PROR）があります。契約者は、イベントR&Oの定期的な定量化、IO-CTおよびIO-DA全体でのR&O評価の標準化、及び日常的なR&Oレビューとそのステータス更新の埋め込みを実施することで、PRORの維持を担当します。契約者は、PLおよびTROに対してR&O専門家として支援を提供し、既存のR&Oのレビュー、新たなイベントR&Oの識別、評価、記録、および対応計画の実施状況の監視を行います。

R&Oの評価は、プロジェクトのベースライン計画を最適化し、主要なプロジェクト作業と軽減措置の優先順位付けを行うための管理ツールとして使用されます。R&Oは、リスクおよび機会管理手順で説明されたアプローチを使用して識別および定量化されます。

契約者は、Primavera Risk Analysisソフトウェアを使用して定量的リスク分析（モンテカルロシミュレーション）を実施し、高リスクおよび不確実性の領域を特定し、プロジェクトが保持すべき適切な時間およびコストの余裕を計算することができます。これは年に一度行われます。

このサービスを実行するには、2～5人のR&Oマネージャーが必要と予想されます（時間経過後に変わる可能性あり）。

○調達プロセスと目的

目的は、競争入札プロセスを通じて供給契約を落札することです。

この入札のために選択された調達手続きは公開入札手続きと呼ばれます。

オープン入札手順は、次の 4 つの主要なステップで構成されています。

➤ ステップ 1-事前情報通知 (PIN)

事前通知 (Prior Indicative Notice) は、公開入札プロセスの最初の段階です。IO は、国内機関に対して、今後の入札に関する情報を公開するよう正式に招待し、企業、機関、またはその他の団体に入札の機会を事前に知らせます。入札に興味のある方は、下記の調達スケジュールに示された期限までに、表明書 (Annex I) を E メールでご提出くださいますようお願いいたします。

特に注意:

関心のある候補企業は、IO Ariba の電子調達ツール「IPROC」に登録してください (まだ登録していない場合)。手順については、<https://www.iter.org/fr/proc/overview> を参照してください。

Ariba (IPROC) に登録する際には、お取引先様に最低 1 名の担当者の登録をお願いします。この連絡担当者は、提案依頼書の発行通知を受け取り、必要と思われる場合は入札書類を同僚に転送することができます。

➤ ステップ 2-入札への招待 (ITT)

PIN の発行から 14 作業日以内に、事前情報通知 (PIN) を入札への招待 (ITT) に掲載します。この段階では、担当の調達担当者に関心を示し、かつ IPROC に登録している関心のある候補企業は、RFP が公表された旨の通知を受けることができます。その後、PIN に詳述されている入札説明書に従って提案書を作成し、提出します。

特に注意:

このツールに登録されている企業のみが入札に招待されます。

➤ ステップ 3- 入札会議

入札者に対して作業範囲および調達・契約ルールを説明するため、オンラインで入札会議が開催されます。

➤ ステップ 4-入札評価プロセス

入札者の提案は、IO の公平な評価委員会によって評価されます。入札者は、技術的範囲に沿って、かつ、入札への招待 (ITT) に記載された特定の基準に従って作業を実施するために、技術的遵守を証明する詳細を提供しなければなりません。

➤ ステップ 5-契約授与

フレームワーク契約は、入札への招待（ITT）で説明された評価基準と方法論に基づき、コストパフォーマンスが最も優れた入札者に授与されます。

○概略日程

概略日程は以下の通りです：

マイルストーン	暫定日程
事前指示書（PIN）の発行	2025 年 3 月 10 日
関心表明フォームの提出	2025 年 3 月 24 日
iPROC での入札への招待（RFP）の発行	2025 年 3 月 31 日
入札会議（オンライン）	2025 年 4 月 4 日
iPROC で入札提出	2025 年 5 月 12 日
入札評価	2025 年 5 月-6 月
契約授与	2025 年 7 月
契約調印	2025 年 8 月
タスクオーダースタート	2025 年 9 月

○契約期間と実行

ITER機構は2025年9月ごろに授与する予定です。予想される契約期間は、2025年のQ4の3か月の導入移行期間を含め、固定期間6年となる見込みです。

ITERでの作業に使われる言語は英語です。プロレベルの流暢さが求められます（話す、書く両方）。

○経験

以下のサービス分野ごとの詳細な経験が、必要なタスクを実行するために必要とされます。これは、提案依頼書の次の段階でさらに詳細化されます。

1 計画・スケジューリング範囲

- Oracle Primavera P6 を使用した複雑なスケジュールの開発、維持、実行経験は必須であり、Oracle Primavera Cloud の使用経験があると望ましい。
- Primavera を使用した厳格な変更管理プロセスおよびスケジュールベースラインの管理経験。
- 複数ユーザー/複数役割の環境での Oracle Primavera の管理および運用経験。
- ANSI 748 または ISO 21508 の実績評価管理（Earned Value Management）を使用して、大規模で複雑なプロジェクトのパフォーマンスを測定、分析、報告する経験。
- PMI、APM、PRINCE またはそれと同等の認証、ならびに P6 および SAP の知識があると

望ましい。

○候補

参加は、個人またはグループ/コンソーシアムに参加するすべての法人に開放されます。法人とは、法的権利及び義務を有し、ITER 加盟国内に設立された個人、企業又は機構をいいます。ITER 加盟国は欧州連合(EURATOM メンバー)、日本、中華人民共和国、インド共和国、大韓民国、ロシア連邦、アメリカ合衆国です。

法人は、単独で、またはコンソーシアムパートナーとして、同じ契約の複数の申請または入札に参加することはできません。共同事業体は、恒久的な、法的に確立されたグループ又は特定の入札手続のために非公式に構成されたグループとすることができます。

コンソーシアムのすべての構成員(すなわち、リーダーと他のすべてのメンバー)は、ITER 機構に対して連帯して責任を負います。

コンソーシアムとして許可されるために、その点で含まれる法人はコンソーシアムの各メンバーをまとめる権限をもつリーダーをもたなければなりません。このリーダーはコンソーシアムの各目メンバーのために責任を負わなければなりません。

指名されたコンソーシアムのリーダーは、入札段階で、コンソーシアムのメンバーの構成を説明する予定です。その後、候補者の構成は、いかなる変更も ITER 機構に通知することなく変更してはなりません。かかる認可の証拠は、すべてのコンソーシアムメンバーの法的に授権された署名者が署名した委任状の形式で、しかるべき時期に IO に提出しなければなりません。

【※ 詳しくは添付の英語版技術仕様書「**Project Control Support Services to IO**」をご参照ください。】
ITER 公式ウェブ <http://www.iter.org/org/team/adm/proc/overview> からアクセスが可能です。

「核融合エネルギー研究開発部門」の HP : <http://www.fusion.qst.go.jp/ITER/index.html>
では ITER 機構からの各募集 (IO 職員募集、IO 外部委託、IO エキスパート募集) を逐次更新しています。ぜひご確認ください。